

●カヌー体験 多くの人が参加

募集期間が短かったのですが、やましろ地域の方が多数ご参加いただきました。二人乗りを希望されたのが7艇ありました。一人乗りは18艇の希望者がありました。この日は台風14号（九州上陸時920pha）は史上最大の強く家屋が倒壊するほどの風速を誇るものと予想されていたので、カヌー体験が実行できないのではないかと心配していました。幸い沖縄地方で北への移動速度が遅くなり時間がかかりましたので、17日の近畿地方では通常の天気で行われました。風と共に雨も心配され高山ダムの予備放流となればとてもカヌー体験は不可能になります。そこまでもされなかったのが安心でした。

今回の取り組みは年齢制限を取り入れ、小学4年生以上とさせていただきました。パドルを操作しなければなりませんし、川上に向かって登らなければならないので制限を設けました。また京都府の交響プロジェクトの交付金も申請しているので山城地方の人々という制限も設けました。にもかかわらず各地方から多くのご参加がありました。

9時30分に挨拶や諸注意があつて準備体操やパドルの操作方法を分かりやすく指導し解説して川上に向かって乗り出しました。それぞれうまくパドルを操作し風が強かったのですが進むことができていたようでした。巨岩奇岩を眺め流れのゆるい場所に集結出来て操船技術を学びあいました。約60分ほどの練習体験でしたがしっかり学習できたようです。多くの方々の感想文からは、大変楽しかった。また来年も参加したい。河原や川の生物をたくさん観察できた。等の声が届きました。

こうした感想をいただき、主催者として台風が予想された時でしたが、次代を担ってくれる子どもたちに良い経験ができたと思います。特に準備を担当していただいたスタッフの皆さんは朝早くからご苦労様でした。

●タヌキマメが大繁殖しているとの情報が届きました

里山の会が発足した25年前から木津川堤防に貴重な花をたくさん見つけ「この花なあに」と観察会を数多く実施しました。皆さんカメラや筆記具で撮影したり記録をとりました。中でタヌキマメに出会ったときは衝撃的でした。こんな植物が木津川にあるのかと誰もがびっくりしました。その生息地を大切に管理してきたのですが、最近数年間は生育している数が少なくなって、このまま絶滅するのではないかと心配していました。ところが数日前の観察調査で群生しているところを確認したとのニュースが届きました。

絶滅寸前種とされている植物が私たちの調査で8種類が分かっていますが、そのうちのフナバラソウは生えて花が咲いたりするのは隔年であったりして姿が見られない年を繰り返しています。タヌキマメもそうした繰り返しをするのではないかと思います。今度の発見は久しぶりの大繁殖で一安心したところです。



●保津峡（桂川）の嵐山の下流で竹蛇籠の設置（魚道の修復）を計画していましたが、竹蛇籠の流失を

防ぐための鉄杭の打ち込みが国交省から許可されないとの情報で、それじゃ河岸で竹蛇籠を設置して魚の住処を作り出そうと魚道の修復から魚の住処つくりに変更して実施しようとなりました。竹蛇籠は4 mものからできるだけ長いものにしようとして里山の会では考えています。製作講習会日時は計画通り 10 月 10 日と 15 日 16 日に実行いたしますので、ぜひ多くの皆さんがご参加くださるようお願いいたします。講習会実施場所は大きく変更することなくできるだけ公園付近を考えておりますのでご安心ください。

●竹蛇籠製作用の真竹の選別に 21 日の午後 1 時から太田さんや大村さん森島さん播川さんが出かけていただきました。竹藪の中は長年手入れがされず、枯れた竹がそのまま横たわったり倒れた竹が交互に重なり倒れあつたりと前進も後進も左右への移動も簡単にできない状況で、適正な太さ（直径 7 cm）で可能な限り（曲がっていないもの 7 m）の竹を見つけ出さねばなりません。竹だけではなく雑草も生い茂っている中での作業ですから非常に大変です。汗だくの大仕事です。藪蚊も来ますので大変です。全部で 100 本を選び出していただきました。大仕事ご苦労様でした。

●会誌 53 号の原稿を募集しています。

調査観察部門では身近なところでの出来事をお知らせください。また仲間の広場部門では自由にご発言をお願いします。特に物価高 異常気象、国葬問題、話題に事欠かないではありませんか。特にウクライナ戦争に関わっての一言（平和の大切さ）はぜひ多くの皆さんからお願いいたします。積極的なご意見ををお願いします。原稿締め切りは 10 月 15 日とさせていただきます。原稿の送付は可能な限りメール（fddb257@ybb.ne.jp）でお願いします。また手書きの原稿は期日を厳守ください。原稿送付先は京田辺市田辺深田 15 までお願いします。書式は明朝 10.5 ポイント 用紙は B5 空白は上下左右 25 mmとしています。文字数は最大 2000 文字（写真、解説、表、絵は別）です。

竹蛇籠製作講習会 参加者募集

川 普 請 に 参 加 を

自然に優しい伝統的河川工法を現在に生かしましょう
一昔前まではどの川でも活用されていました。
自然の材料で川を収めてきました。
今では大井川と木津川だけで使用されています。
小さな魚が身を隠すことができる魚にやさしいすみかとなります。

あなたの手でアユの遡上を助けましょう

初日	10月10日(月)	10月15日(土)	10月16日(日)
場所	保津川 右岸 松尾橋上流 200m 公園 駐車場あり 10台程度	嵐山東公園	
作業開始時間	9時30分~12時30分	午後は自由参加 高木あり(本陰があります)	
服装	作業ができるもの 帽子 水筒 手袋 しっかりした靴 タオル		
募集人数	毎日 30人~40人(参加時間制限なし 早退も可能 できるだけ遅刻しないように)		
申し込み先	fddb257@ybb.ne.jp	氏名 住所 電話 参加日 年齢 性別	
		交通手段(自家用 阪急 バス等)	



主催 やましろ里山の会 京田辺市田辺深田 15 0774-64-4183
協力 京の川の恵みを活かす会 京都大学 NPO やましろ里山の会 自然環境保全京都府ネットワーク
国交省近畿整備局淀川河川事務所 京都府